

由田議員 要望項目一覧

令和3年度当初予算

要望項目	左 対 する 対 応 方 針 等
1. 「鳥取県子どもの貧困対策推進計画」の基本方針を踏まえ、関係機関と連携して、支援が届いていない又は届けにくい子どもや家庭の実態把握を早急に進めること。	令和2年度に国による実態調査が予定されていることから、当該結果も踏まえ、今後の対応を検討していく。
2. 関係機関が連携し、生活困窮者の包括的な支援及び子ども食堂の充実、拡大に取り組むこと。	<p>生活困窮者の包括的な支援については、まずは住民に身近な市町村が窓口となり、地域の見守りや支え合いの取組も活用しながら対応すべきものと考えている。</p> <p>県は、市町村の包括的な福祉支援体制整備に対し、包括的支援体制整備推進員の配置や県内の多分野の専門職等で構成する推進チームによる実践的サポートなどを行うとともに、1月臨時補正予算で自立相談支援の機能強化など、生活困窮者に係る支援の拡充を行った。</p> <p>また、子どもの居場所の立上げや運営継続に係る助成を市町村と連携して実施するとともに、こども食堂等で構成するネットワークへの活動支援を実施しており、補助要件として、食事提供等の居場所の確保のみでなく、学習や創作活動等を通じた生活習慣の習得や気になる子どもの行政・学校への連絡を必須としている。</p> <p>引き続き、生活困窮者の包括的な支援及び子どもの居場所の充実、拡大に取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【1月臨時補正】生活困窮者に係る総合支援拡充事業 37,184千円 ・市町村包括的福祉支援体制整備推進事業 7,319千円 ・子どもの貧困対策総合支援事業（子どもの居場所づくり事業補助金）8,601千円 ・子どもの貧困対策総合支援事業（とっとり子どもの居場所ネットワーク活動支援事業補助金）5,279千円
3. 上記の取組に、機能的に取り組んでいくためにも、県内全ての市町村において「子どもの貧困対策推進計画」が早期に策定されるよう、本県としても取り組んでいくこと。	<p>「鳥取県子どもの貧困対策推進計画」において、全市町村における子どもの貧困対策推進計画の策定を目標としており、市町村と計画策定について意見交換を行っている。</p> <p>子どもの貧困対策推進計画の策定市町村数は、令和元年度の2団体から令和2年6月時点で5団体に拡大しており、引き続き、市町村の策定が進められるよう働きかけていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの貧困対策総合支援事業（学習支援充実事業補助金）1,633千円